

特徴ある絹素材の開発

絹の消費を高めるために、消費者の購買意欲を促す製品、例えば物語性、トレーサビリティが明確なもの、消費性能を一目で理解しやすいものなどが求められる。当研究所で開発された蚕品種や遺伝子組換えカイコ等の繭及び生糸の品質評価技術をもとに、それらの特性を活かした糸や織編物等の絹素材の開発を行う。また、絹素材の特性を捉えるため、繭から糸、織編物に至る一連の製造工程についても検討する。

一方、これまで一般消費者から要望されてきた課題で、未だ解決に至っていない絹の欠点とされる諸問題について、蚕品種の特性を考慮した濃染化等の化学加工及び機能加工の技術開発に取り組む。また、純国産絹の特性を消費者にわかりやすく伝えるため、布の揺動性等従来の方法では捉えることが困難であった特性について、新規評価方法の確立とともに消費性能の数値化を図る。なお、絹新素材の研究開発にあたっては、民間企業と連携し、商品化を前提にした取り組みを行う。

